

SDGs認知度調査

2026年3月

大阪府 政策企画部 企画室 連携課

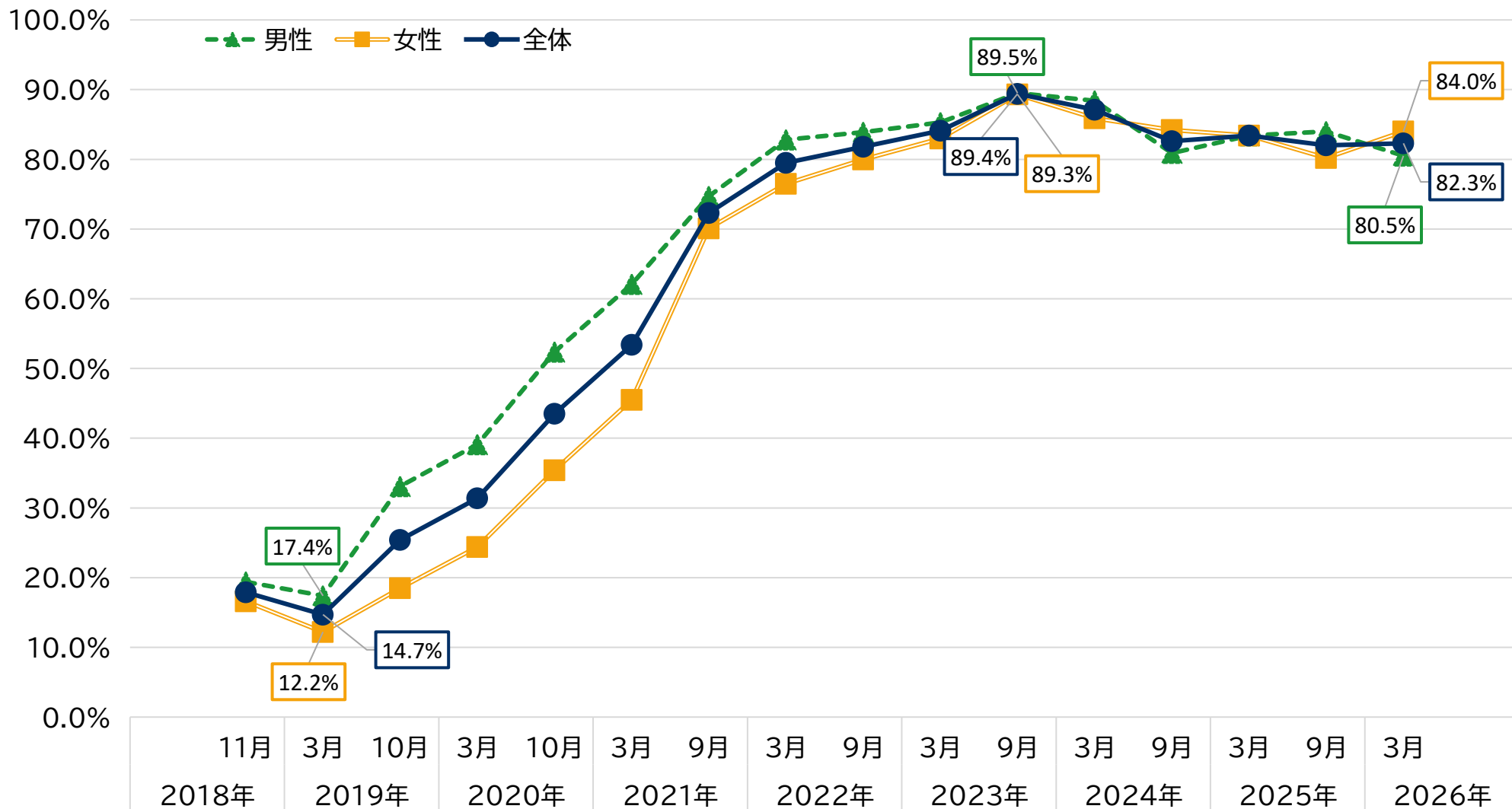
【アンケート調査の概要】

調査方法：民間の調査会社が保有するモニターを対象としたインターネットアンケート調査

調査対象：国勢調査に基づく性・年代・居住地の割合で割り付けた18歳以上の大阪府民1,000人

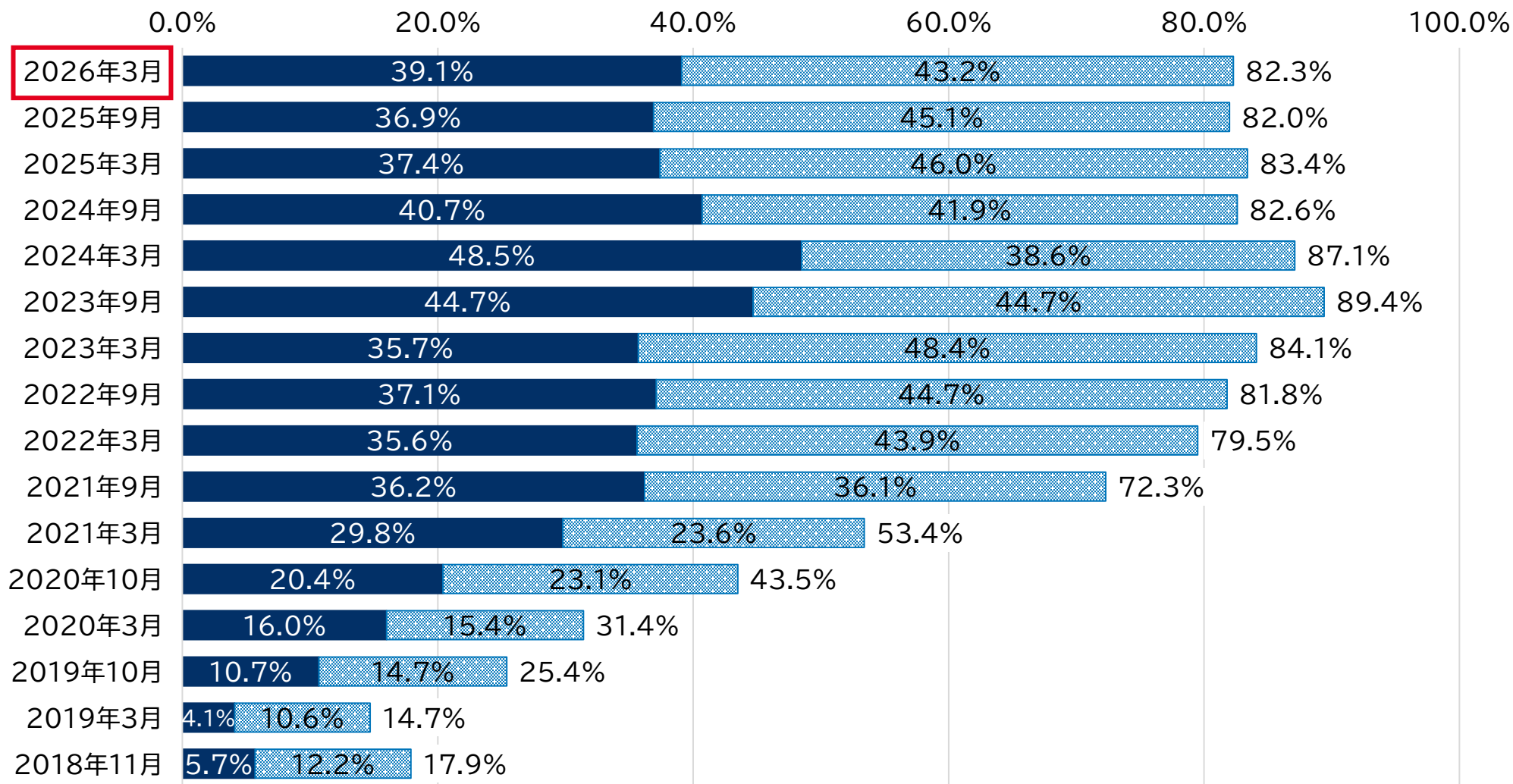
実施期間：2026年3月13日から3月23日

府民全体の認知度は **82.3%**（2026年3月時点）。



※「SDGsを知っている」と「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の合計をSDGsの認知度としている

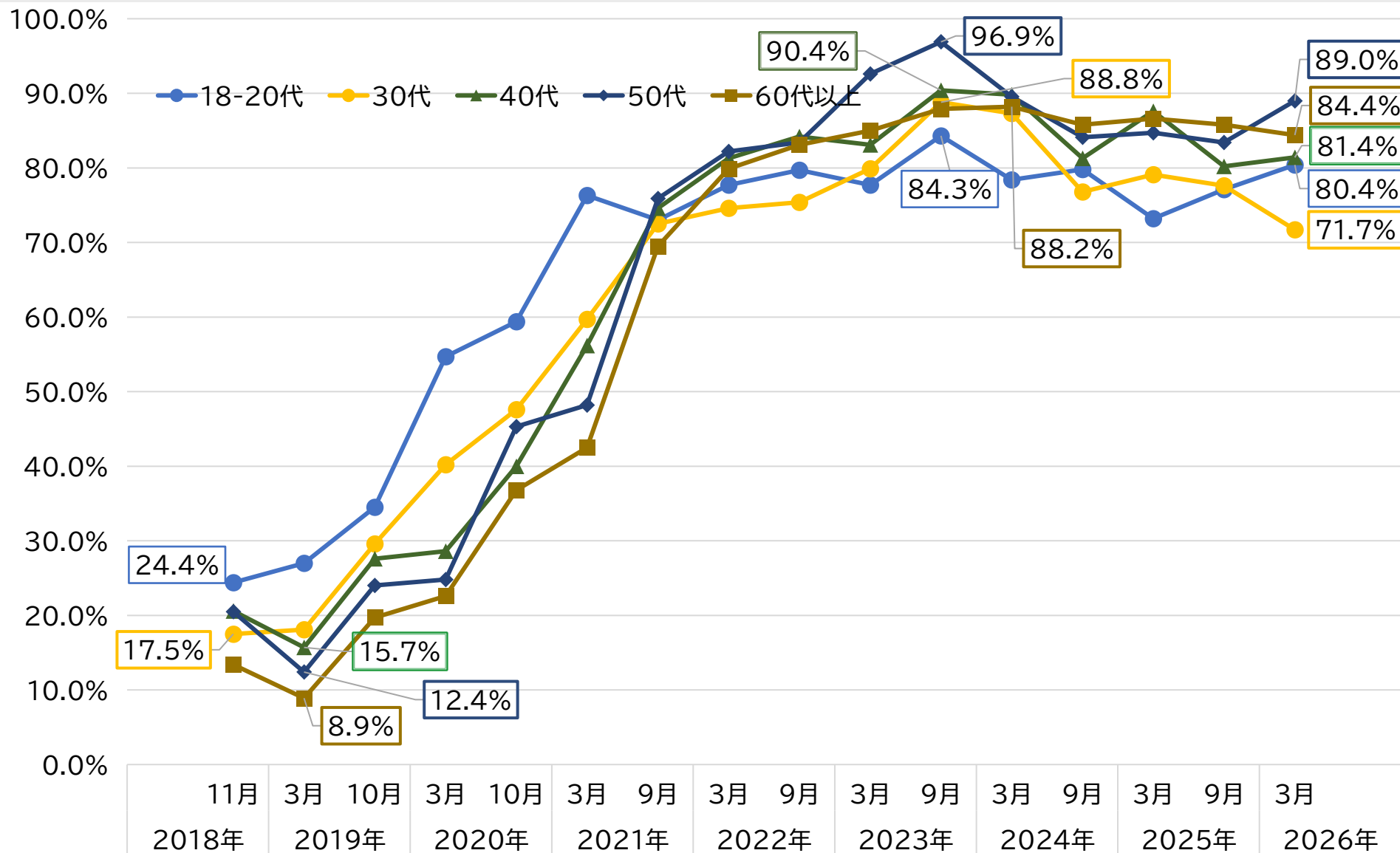
SDGsの認知度は、概ね80%を超える水準で推移している。



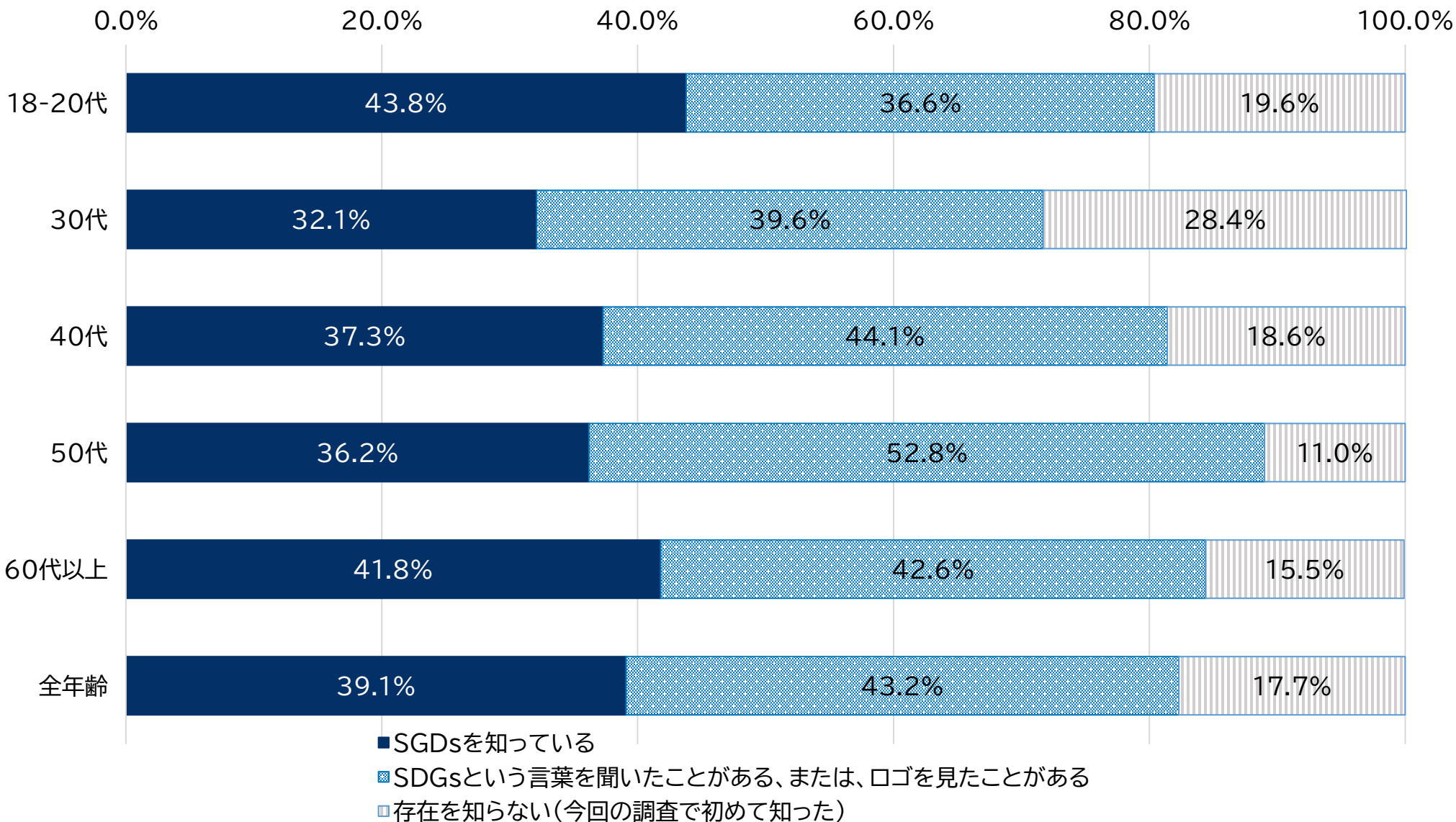
■SGDsを知っている

■SGDsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある

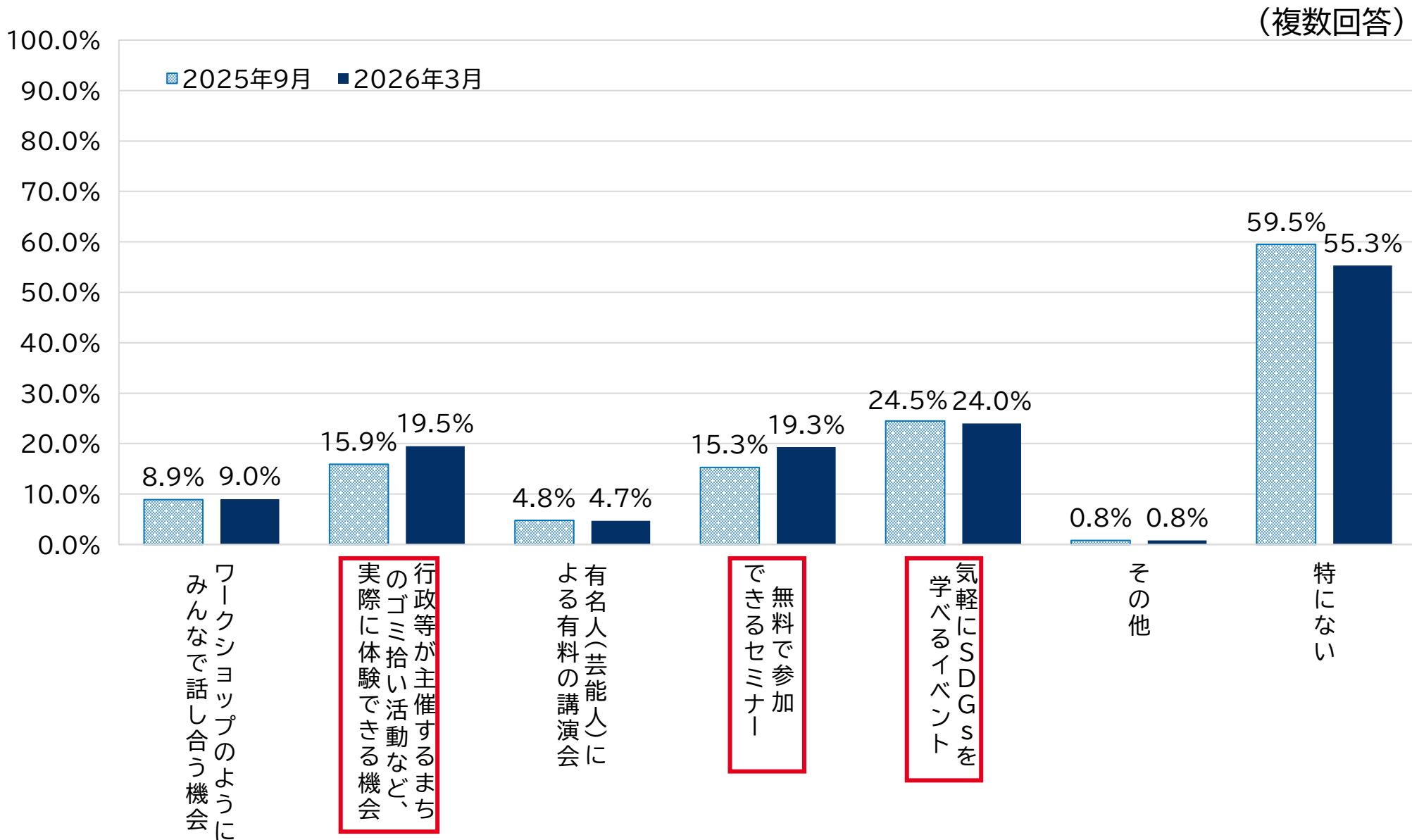
2022年以降、全ての世代で認知度は70%を超える水準で推移している。



認知度は全年代で高いが、30代のみ認知度が80%を下回っている。

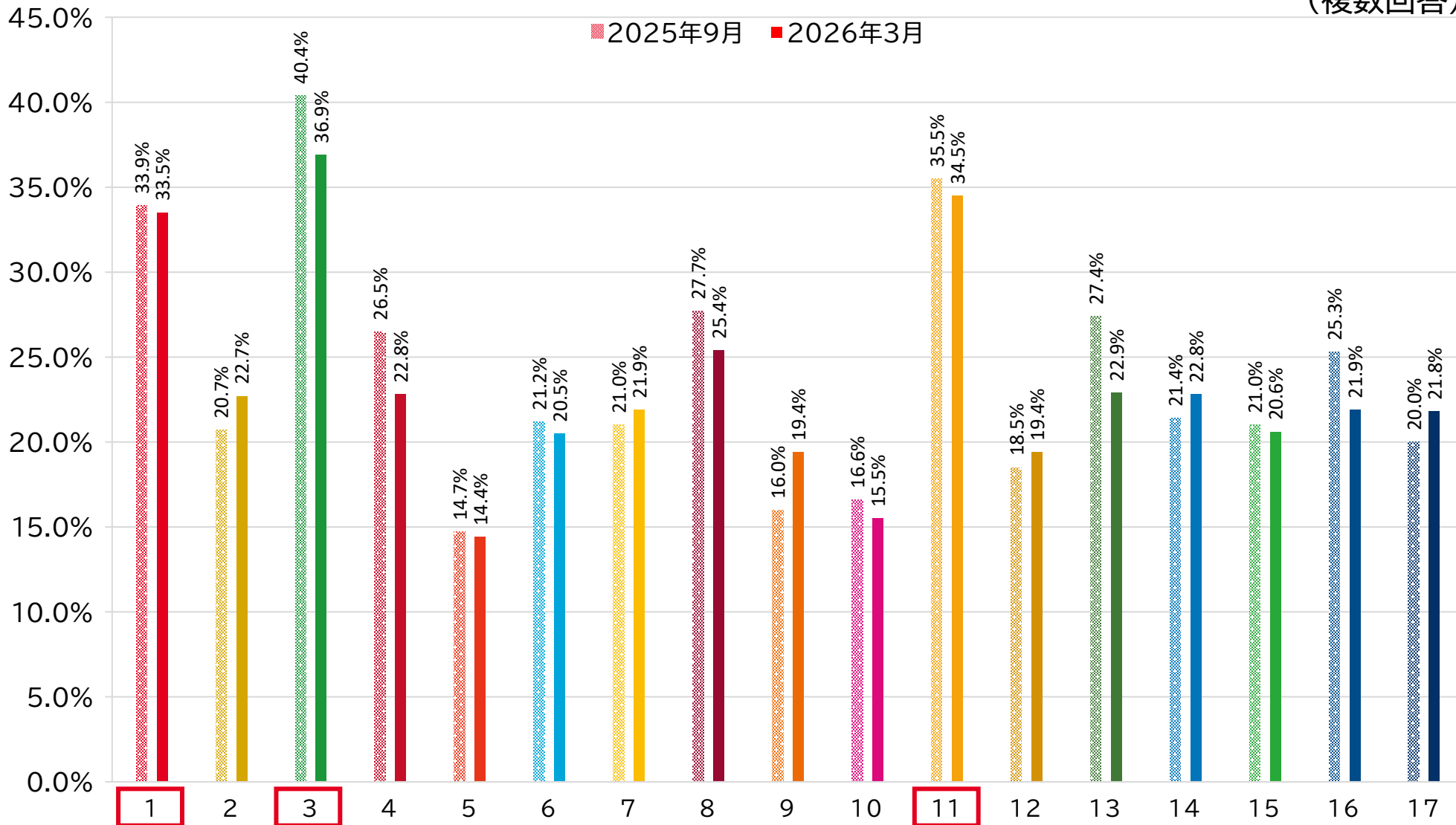


SDGsに関心が高まる機会は、「気軽にSDGsを学べるイベント」、「行政等が主催するまちのゴミ拾い活動など、実際に体験できる機会」、「無料で参加できるセミナー」の割合が高い。



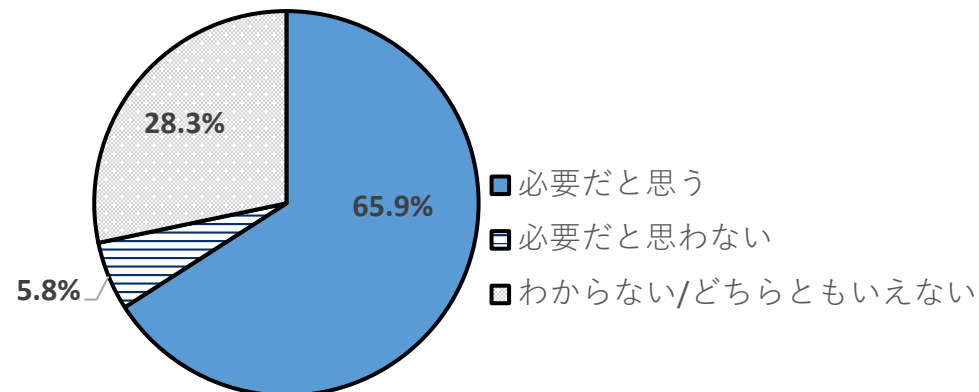
大阪で重要だと思うゴールは、「ゴール3(すべての人に健康と福祉を)」、「ゴール11(住み続けられるまちづくりを)」、「ゴール1(貧困をなくそう)」の割合が高い。

(複数回答)

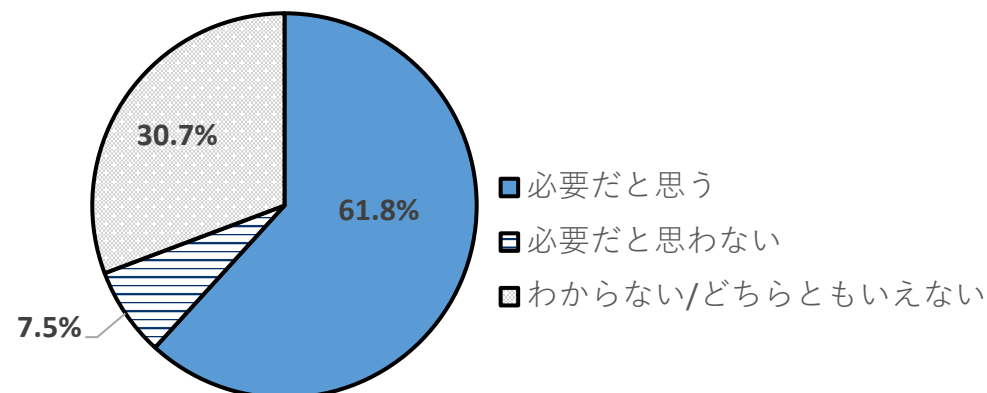


大阪SDGs行動憲章に関する共感率は全ての項目で60%超。

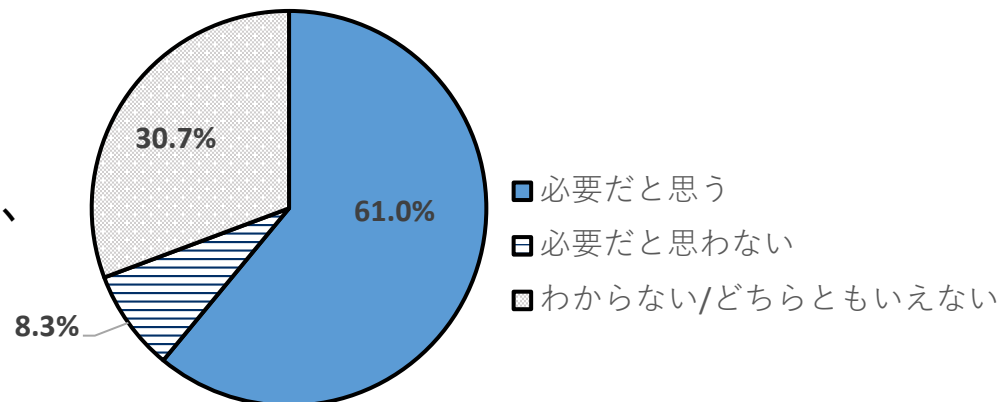
行動憲章1.
かけがえのない“いのち”を大切にし、
地域社会や環境に配慮して行動すること



行動憲章2.
住みたい魅力あふれる大阪をイメージし、
できることから意識して行動すること

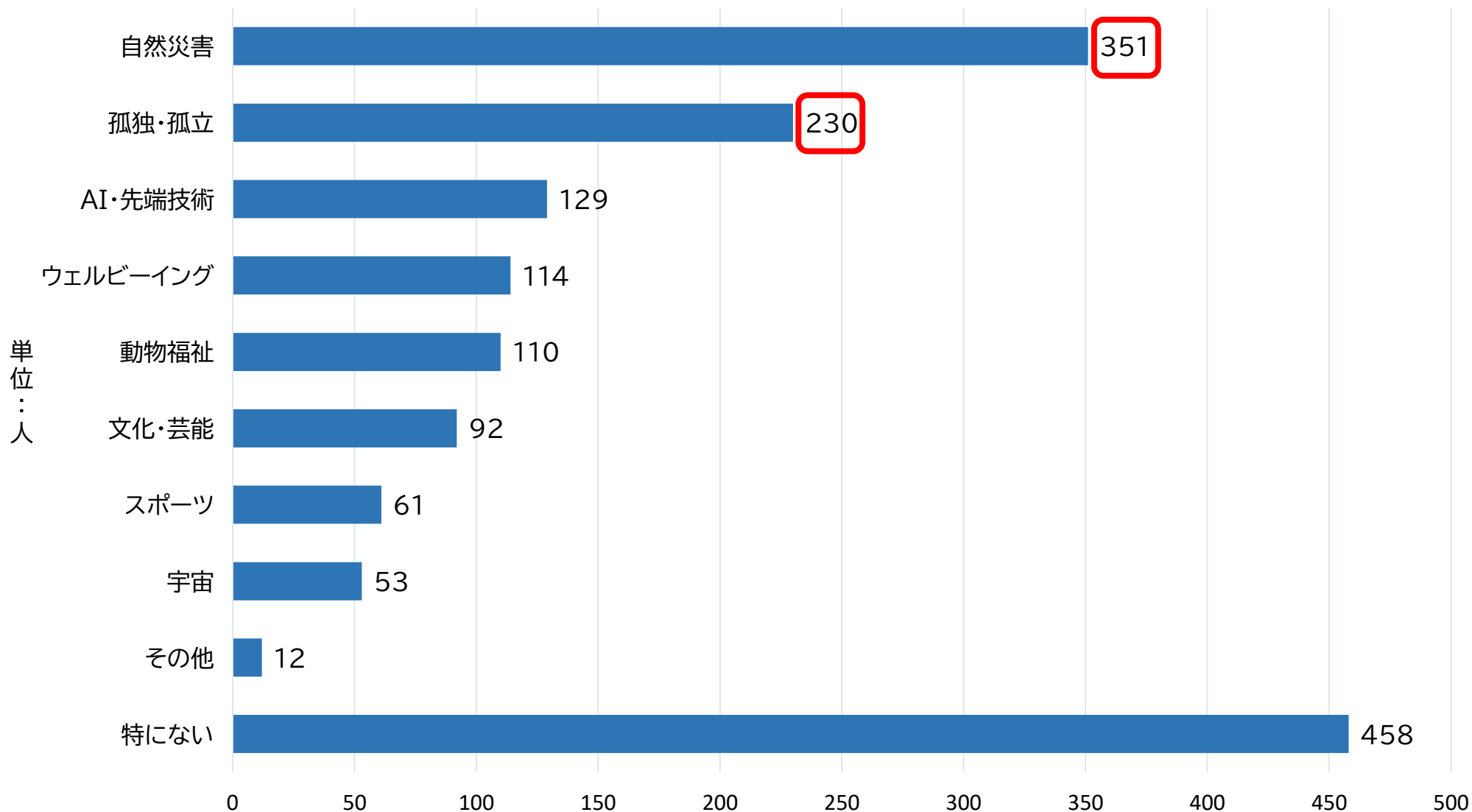


行動憲章3.
人と人との出会い、繋がりを大事にしながら、
お互いに学びあい協力して行動すること

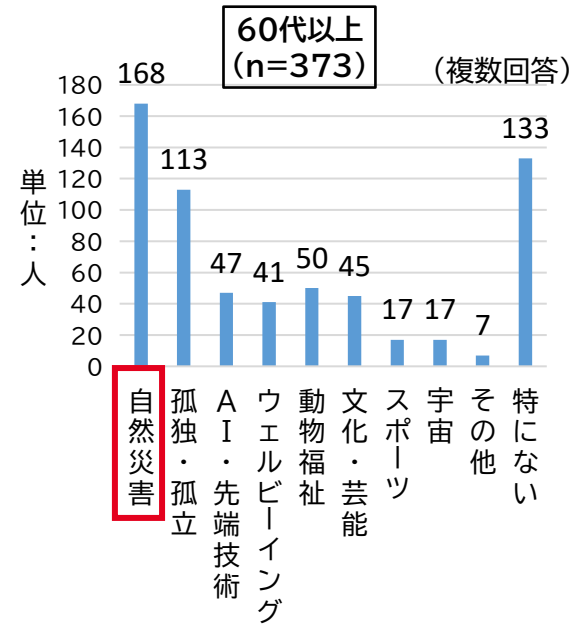
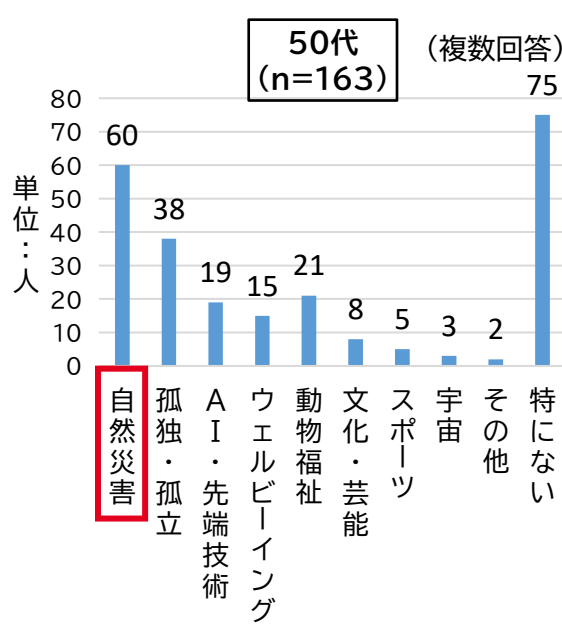
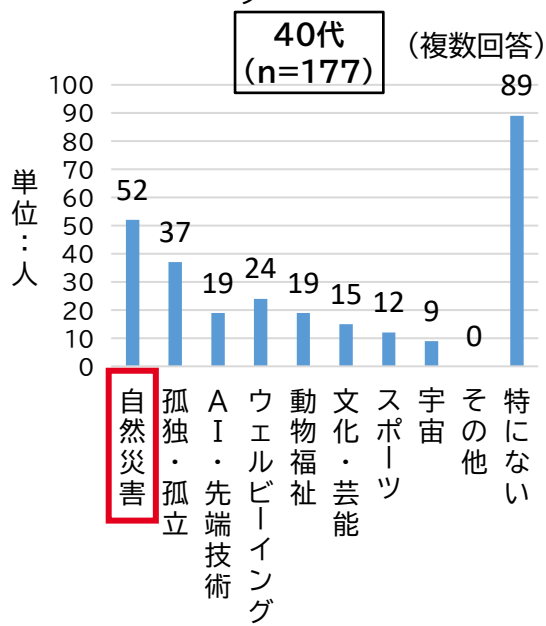
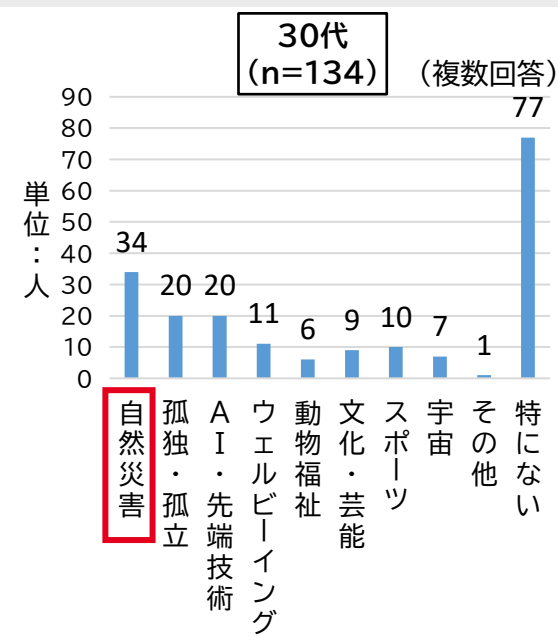
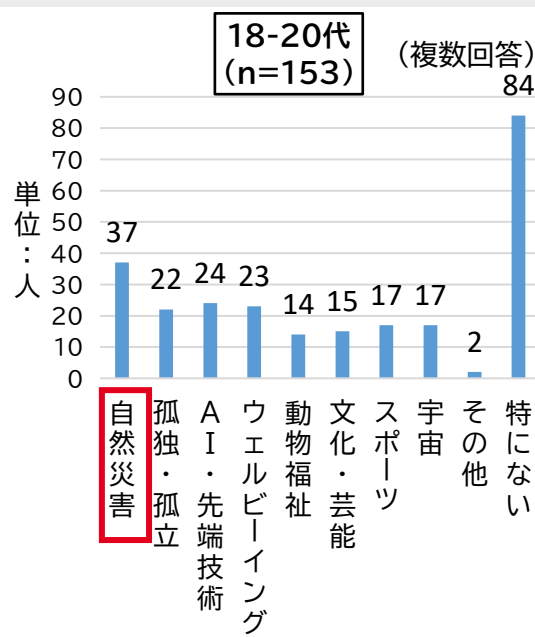
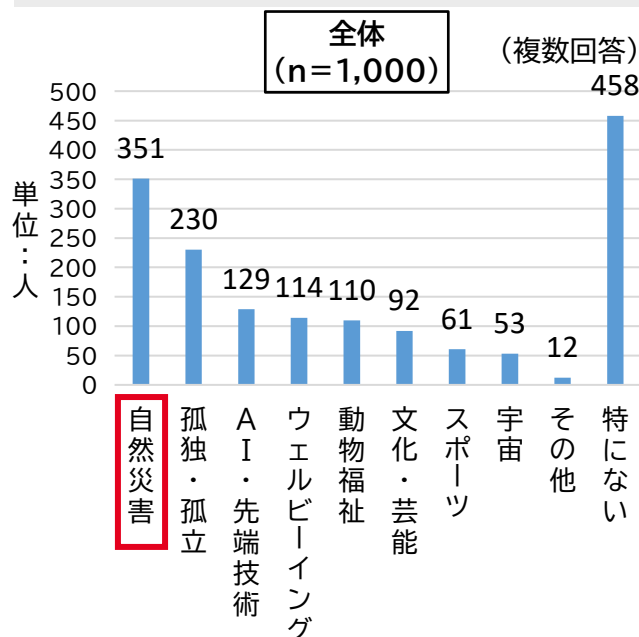


現在のSDGsに不足しているもの、今後強化すべき観点としては、「自然災害」が最も高く、次いで「孤独・孤立」が高い。

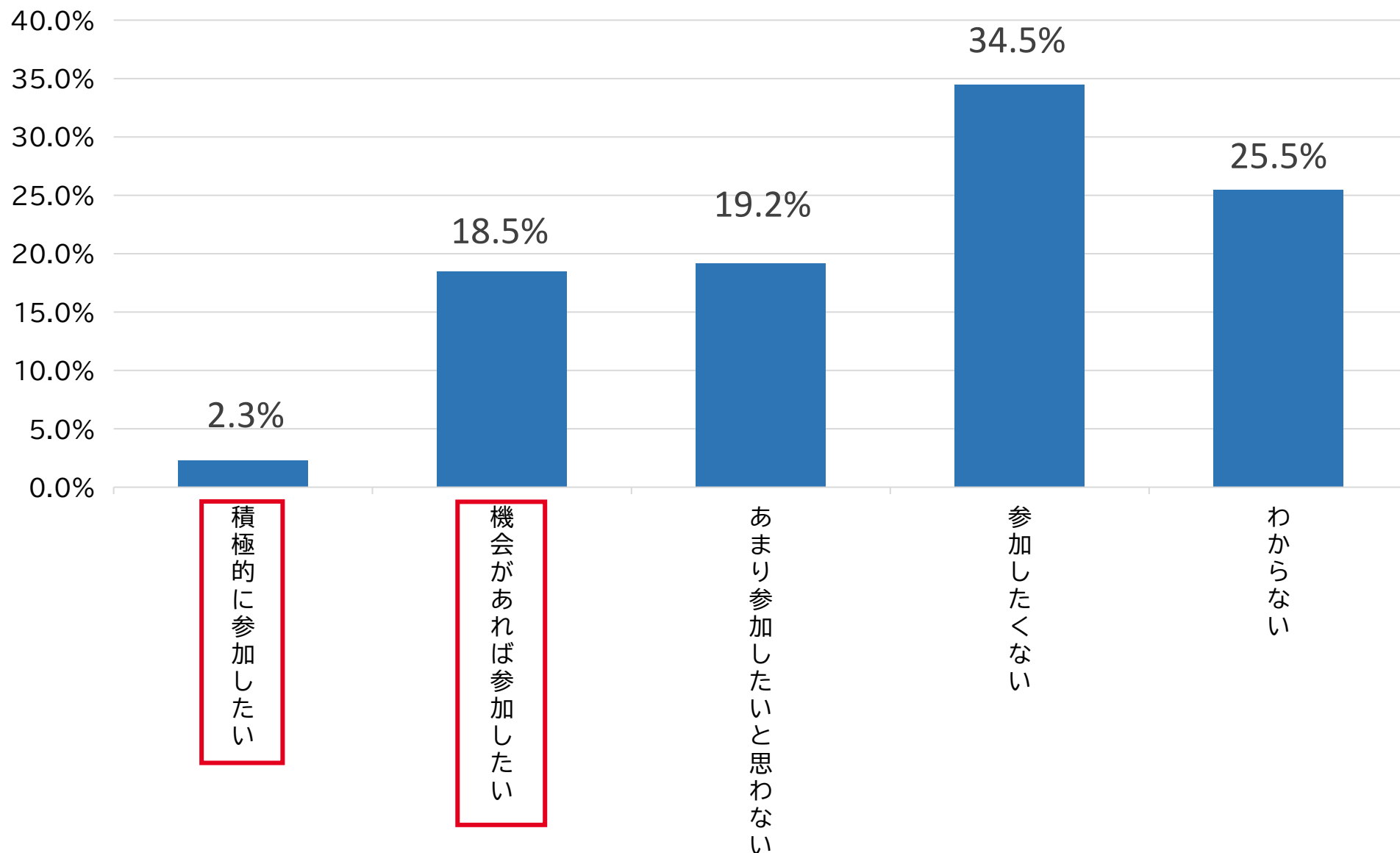
(複数回答)



現在のSDGsに不足しているもの、今後強化すべき観点は、全年代で「自然災害」が最も高くなっている。

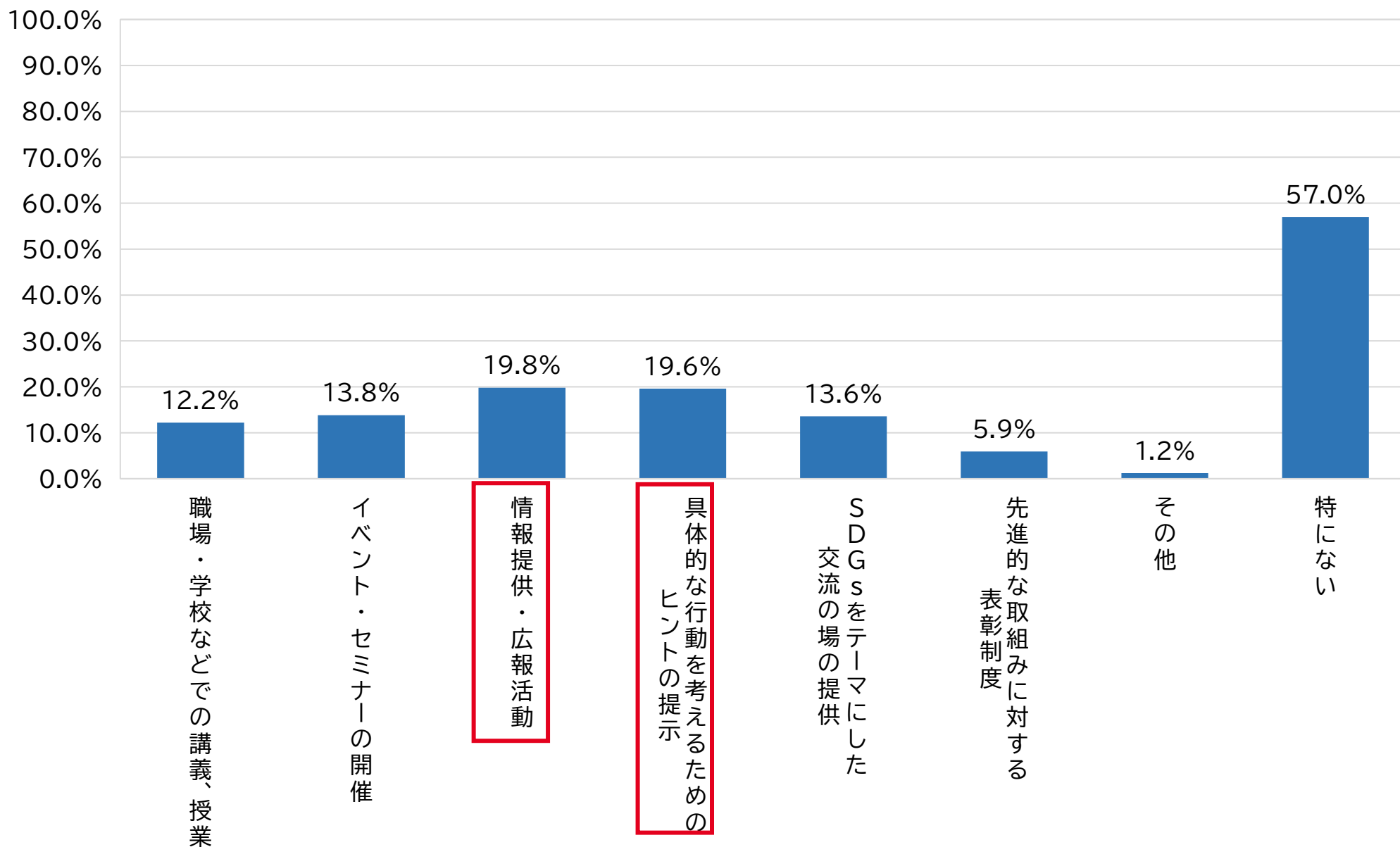


ビヨンドSDGsに向けた話し合いの場への参加意向は20%。



※「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計を参加意向としている

SDGsを広めるため大阪府に期待する取組みは、「情報提供・広報活動」、「具体的な行動を考えるためのヒントの提示」の割合が高い。



普段の生活におけるSDGs意識度・行動度では、SDGsの達成に向け、SDGsを日常の行動と紐付けて説明できる人の割合は約30%程度。取組を定期的に振り返り、見直ししながら継続している人は約20%程度。

あなたは、普段の生活において、SDGsをどの程度意識して行動していますか。	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない
SDGsの達成は政府や企業だけの課題ではなく、自分の日常の選択・行動とも関わっていることを理解し、身近な例を挙げて説明できる。	7.2	22.5	39.6	18.8	11.9
これまで実際に行ってきた行動・活動(習慣、参加経験、業務上の取り組み等)について、どのSDGsの目標またはターゲットに、どのように貢献しているかを、具体例とともに言語化できる。 (例:日常の〇〇は目標〇に対して△△の観点で効果がある／過去に参加した〇〇は目標〇の□□に寄与している、など)	5.2	15.4	45.0	19.3	15.1
今後中長期的に取り組みたい(または継続・強化したい)行動・活動について、どのSDGsの目標またはターゲットに、どのように貢献させるかを、「何を・いつまでに・どの頻度で」の形で計画として示せる。 (例:〇月までに〇〇を週△回にする／次の四半期で〇〇に参加する、など)	4.3	14.0	45.1	19.3	17.4
上記項目3で立てた計画のうち、少なくとも1つについて、すでに着手している。 (例:初回の実施、参加申込、必要な準備の開始、習慣化の開始ができている、など)	5.1	15.6	40.2	20.3	18.8
上記項目4で着手した取組を定期的に振り返り(例:月1回・四半期1回など)、結果や気づきに基づいて内容・頻度・方法を見直ししながら継続している。	4.5	14.2	41.9	19.4	19.9

「笑い」と「幸せ」、「満足度」、「価値」、「健康感」には、それぞれ正の相関がみられる。

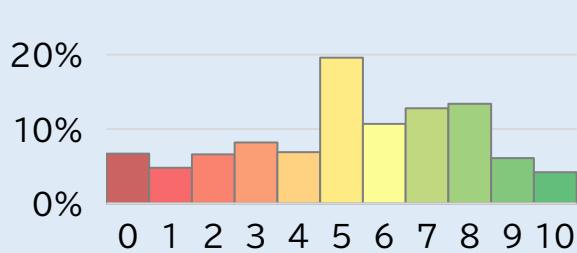
◀全く〇〇でない(最も望ましくない状態)



これ以上なく〇〇(最も望ましい状態)▶

満足度

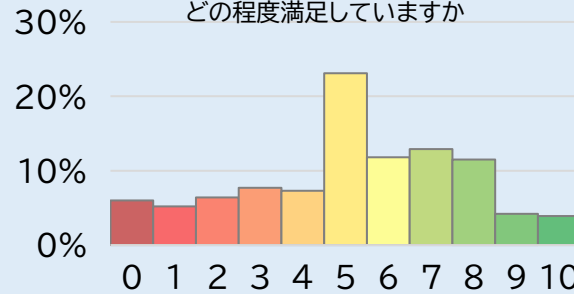
全体として、あなたが取り組んでいることに対してどの程度「価値」を感じていますか



相関係数
0.74

価値

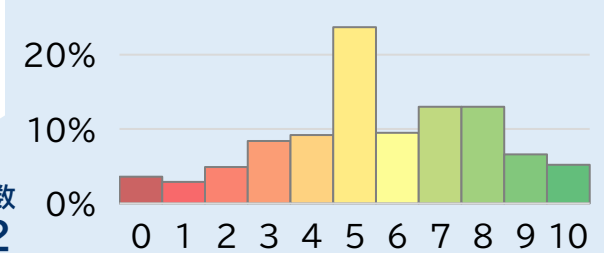
全体として、あなたは自分の人生にどの程度満足していますか



相関係数
0.71

健康感

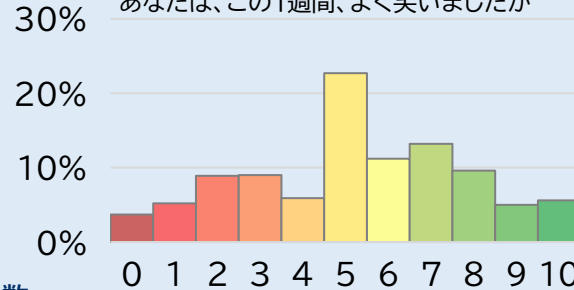
ご自身の現在の健康状態をどのように評価されていますか



相関係数
0.62

笑い

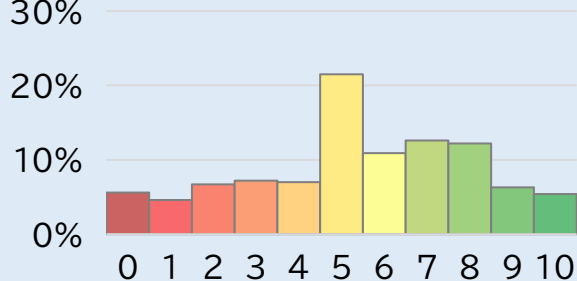
あなたは、この1週間、よく笑いましたか



相関係数
-0.12

幸せ

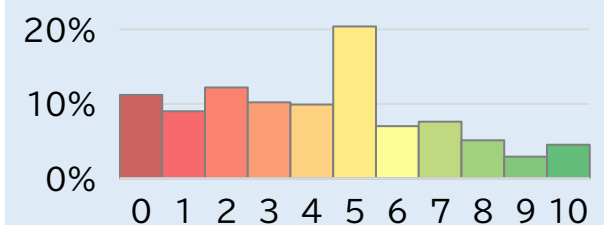
全体として、昨日、どの程度幸せを感じましたか



相関係数
0.78

不安

全体として、昨日、どの程度不安を感じましたか
※0:これ以上ない不安を感じた
10:全く不安に感じなかった



- ・ 買い物で手前取りやフェアトレードを意識している
- ・ 規則正しい生活と日常に軽い運動を取り入れている
- ・ 定期的な地域清掃に参加している
- ・ 地産地消を心掛ける
- ・ 電気や水などの無駄遣いに気をつける
- ・ リサイクルやリユースを意識する
- ・ 廃材リメイクや廃材で工作をしている
- ・ 地域の人々と共に助け合いの組織をつくる
- ・ まずは身近な人に対して理解し、思いやる気持ちを持つてつながりを大事にしている
- ・ 家庭園で生ごみを堆肥に利用する
- ・ ゴミの分別の徹底、ゴミを減らし再生利用に貢献する
- ・ 必要以上に車を使わず公共交通機関を利用する
- ・ マイボトルやエコバッグを持って出かける
- ・ 無駄をなくして必要な物だけを購入する
- ・ ボランティア活動に参加する
- ・ 不要な照明を消す、シャワーの時間を短くする
- ・ 家の周りの掃除(美化)・緑化(花等を育てる)
- ・ ジェンダー平等を意識する
- ・ 詰め替え用のものを買う
- ・ 食料品は最後まで使い切る
- ・ プラごみを川や海に流れ込ませないように徹底的に分別やリサイクルに出す
- ・ 川、海を少しでも汚さないように洗剤の使用控えめになっている
- ・ 地域で、福祉、防災、芸術の発表、スポーツ大会を開催する